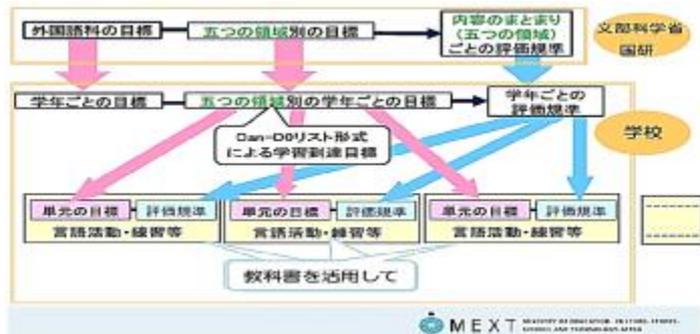


# 小学校 外国語科

## 1. 外国語科における学習評価の基本的な考え方



外国語科における「内容のまとまり」とは、「五つの領域（＝「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと【やり取り】」、「話すこと【発表】」、「書くこと」）のことを意味し、小学校学習指導要領では、「五つの領域」ごとに言語「英語」の目標が示されています。また、小学校学習指導要領では、学年ごとの目標は示されていません。そこで、各学校では、児童の実態に基づき、小学校学習指導要領の「3 指導計画の作成及び内容の取り扱い」や教科用図書等を活用し、「学年ごとの目標」や「単元ごとの評価規準」を作成する必要があります。

## 2. 小学校 外国語科の評価の手順

### (1) 内容のまとまりごとの評価規準の作成

① 外国語科における内容のまとまりごとの評価規準を作成するためには、下記のポイントを踏まえて作成しましょう。



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知識」では、五つの領域別に、小学校学習指導要領で示されている「(1) 英語の特徴やきまりに関する事項」に記載されている事項について理解している状況を、評価する。</p> <p>➢ 評価規準では、「(単元で扱う言語材料等の事項)について理解している」等となる。</p> <p>「技能」では、五つの領域別に技能を身に付けている状況を評価する。</p> <p>➢ 評価規準では、「〔知識〕を活用して) …する技能を身に付けている」等となる。</p>	<p>「思考・判断・表現」では、五つの領域別に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、児童が言語活動を行っている状況等を評価する。</p> <p>➢ 「聞くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄等について話されているのを聞いて、その概要を捉えている状況を評価する。評価規準では「…を聞いて概要を捉えている」等となる。</p> <p>➢ 「読むこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、意味が分かっている状況を評価する。評価規準では「…を読んで、意味が分かっている」等となる。</p> <p>➢ 「話すこと【やり取り】、話すこと【発表】」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分や相手のこと等を伝え合ったり、自分の考えや気持ち等を話している状況を評価する。評価規準では「…を伝え合っている【やり取り】」、「…を話している【発表】」等となる。</p> <p>➢ 「書くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、書いたりしている状況を評価する。評価規準では「…について、書いたりしている」等となる。</p>	<p>「主体的に学習に取り組む態度」では、五つの領域別に、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況を評価する。</p> <p>➢ 評価規準では「(コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況を見取ることから) …しようとしている」等となる。</p>

② 小学校学習指導要領の「第2章 第10節 外国語 第2各言語の目標及び内容等 英語1」では、「五つの領域」ごとに目標が示されています。内容のまとまりごとの評価規準を設定する際には、それらの「五つの領域」と各観点との関係性を踏まえた、参考資料第2編に掲載されている「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を参考に作成しましょう。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>
読むこと	<p>【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】実際のコミュニケーションにおいて、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音する技能を身に付けている。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音している。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読んで意味を分かろうとしている。</p>

話すこと「やり取り」	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を<b>理解している</b>。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりする技能を身に付けている。日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、<b>伝え合ったりする技能を身に付けている</b>。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりしている。日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、<b>伝え合ったりしている</b>。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて<b>伝え合おうとしている</b>。</p>
話すこと「発表」	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を<b>理解している</b>。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話す技能を身に付けている。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話す<b>技能を身に付けている</b>。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話している。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを<b>話している</b>。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて<b>話そうとしている</b>。</p>
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を<b>理解している</b>。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、大文字、小文字を活字体で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする技能を身に付けている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く<b>技能を身に付けている</b>。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、大文字、小文字を活字体で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりしている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて<b>書いている</b>。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて<b>書き写したり書いたりしようとしている</b>。</p>

③ 外国語における目標を設定する際には、各学年だけでなく、2 学年間を見通した設定をすることが大切です。そのためには、学年間の関連を図るとともに、その1 年間に必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年にふさわしい指導内容を選択した指導計画を作成するとともに、その目標の実現をめざすことが大切です。

## (2) 「指導と評価の計画」と単元ごとの評価規準の作成

「指導と評価の計画」を作成するためには、観点別の学習状況を記録に残す時期や方法を単元計画の作成段階から見通すことが重要です。併せて、評価場面での「めざす児童の姿」も、明確にしておくことも重要です。

(例) 「We Can! 1Unit2 When is your birthday?」での単元における評価規準

	聞くこと	話すこと [やり取り]
知識・技能	<p>[知識] 月日の言い方、I like/want... Do you like/want ... ? What do you like/want... ? When...? その答え方について<b>理解している</b>。</p> <p>[技能] 誕生日や好きなもの、欲しいもの等、具体的な情報を聞き取る<b>技能を身に付けている</b>。</p>	<p>[知識] 月日の言い方、I like/want... Do you like/want ... ? What do you like/want... ? When...? その答え方について<b>理解している</b>。</p> <p>[技能] 知識を使って、誕生日や好きなもの、欲しいもの等について I like/want... When is your birthday? What do you like/want...? 等を用いて、考えや気持ちを伝え合うために必要な<b>技能を身に付けている</b>。</p>
思考・判断・表現	<p>相手をよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいもの等、具体的な情報を<b>聞き取っている</b>。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいもの等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの気持ち等を<b>伝え合っている</b>。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>相手をよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいもの等、具体的な情報を<b>聞き取ろうとしている</b>。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいもの等について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの気持ち等を<b>伝え合おうとしている</b>。</p>

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
知識・技能	<p>&lt;知識&gt;・・・ &lt;技能&gt;・・・</p>	+	<p>&lt;知識&gt;・・・ &lt;技能&gt;・・・</p>		
思考・判断・表現	<p>ここでは、2つの領域を総括して、単元末の「知識・技能」として評価をする。</p>				
主体的に学習に取り組む態度					

「3つの観点」  
「5つの領域」からなる3×5の15マスについて計画的に見取ることが重要



【単元（題材）の目標】

自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどに、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

※なお、本単元における「書くこと」（アルファベットの活字体の大文字を書くこと）は、今学期を通して指導するため本単元内では記録に残す評価は行わない。

時	目標（◆） 活動（○） 【 】We Can!の言語活動等	知	思	態	◎評価規準 [評価方法]
1	<p><b>◆月の言い方を知る。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。</b></p> <p>○ Small Talk 好きな季節や月 【Let's Watch and Think 1】 【Let's Play 1】ポインティングゲーム（月・季節） 【Let's Chant】Twelve Months 【Let's Listen1】 誌面にある行事は何月かを予想し、音声教材を聞いて聞こえた音について、指導者とやり取りしながら答えを確かめる。 ○ ミッシング・ゲーム ○ Sounds and Letters (A, H, I, M)</p>				<p>★本時では、目標に向けての指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><b>《指導改善のためのポイント》</b> 児童は、本時で初めて月名に出会う。そこで本時では、言語活動を通して月名を繰り返し聞かせるとともに、さまざまな言語活動（例：指導者から When is your birthday? と尋ねられた児童が日本語で回答したことから、Your birthday is... と英語に置き換える等）本単元で扱う語句や表現を十分に聞かせるようにする。</p>
* 第2時・第3時は省略					
4	<p><b>◆誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝えたりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。</b></p> <p>【Let's Chant】 When is your birthday? ○ Small Talk 誕生日と誕生日プレゼント 【Let's Watch and Think 4】 これから視聴しようとするデジタル教材についてのコミュニケーションの目的や場面、状況について、指導者とのやり取りから大まかに理解する。その後、デジタル教材を視聴し、Hana について分かったことをワークシートについて書く。</p> <p><b>○指導者の誕生日についての短い話を聞き、聞き取ったことをワークシートに記入する。誕生日や好きなもの、欲しいものについて質問に答えたり尋ねたりする。</b></p> <p>○ メモリー・ゲーム 【Activity 1】 ○ Let's Read and Write ○ Sounds and Letters (Z, G, D, B)</p>	聞			<p>★本時では、「話すこと [やり取り] 」については、目標に向けての指導を行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><b>《指導改善のためのポイント》</b> 前時までに十分に聞かせた表現（I like... I want... 等）を、Small Talk でも何度も活用し、十分に聞かせるようにする。 前時の活動までで不十分な児童がいる場合、活動後に“I like soccer. What sport do you like?”のように、自分が好きなものを表す表現を聞かせてから尋ね、意味のあるやり取りの中で表現の定着を図るようにする。</p> <p><b>【「聞くこと」の記録に残す評価】</b> ◎指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。 ＜行動観察・ワークシートへの記述分析＞ ※児童が聞き取る様子やワークシートへの記述を分析し、全員の評価の記録を残す。</p>
5	<p><b>◆相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。また、活字体の大文字を書くことができる。</b></p> <p>【Let's Chant】 When is your birthday? 【Let's Watch and Think 4】 前時で視聴したデジタル教材を再度視聴し、Gilbert について分かったことをワークシートについて書く。 ○ Small Talk 欲しいもの 【Activity 2】 カードを描かせる前に、良いやり取りの例を児童に紹介し、次の時間に向けての良い見通しを持たせる。 ○プレゼントしたいものの絵を描いて、バースデーカードを完成させる。</p> <p><b>【Let's Watch and Think 5】 デジタル教材を視聴して、Laksh について分かったことを、テキストに書く。</b></p> <p>○ Sounds and Letters (O, J, C, P)</p>	聞	聞		<p><b>《指導改善のためのポイント》</b> 前時の【Let's Watch and Think 4】で、十分に概要を捉えていない児童がいる場合は、その児童の状況を見ながら、活動を進めるようにする。また、欲しいものを聞き取れずに誌面に書けていない児童がいる場合は、Small Talk で何が欲しいか尋ねたり、答えたりするようにする。</p> <p><b>【「聞くこと」の記録に残す評価】</b> ◎相手のことをよく知るために、誕生日等について短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。 ＜行動観察・テキストへの記述分析＞ ◎相手のことをよく知るために、誕生日等について短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。 ＜行動観察・テキストへの記述分析＞ ※児童が聞き取る様子やテキストの記述を分析し、評価の記録を残す。</p>
<p>行動観察やワークシート等の記述を分析することは、評価の妥当性、信頼性を高めるとともに、より良い授業推りを推進するためにも重要。併せて、指導者が見取りたい「領域」や「観点」を見取ることができる工夫をワークシート等に反映させておくことも重要。</p>					

\* 第6時は省略

7	<p>◆自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。</p> <p>[Let's Chant] When is your birthday?</p> <p><b>【Activity 2】</b> パースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながらカードに書かれていることについてやり取りする。</p> <p>[STORY TIME]</p>	話 「や」	話 「や」	<p>【話すこと [やり取り]】の記録に残す評価】</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり相手の事をよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいもの等について尋ねたり答えたりして<u>伝え合っている。</u> &lt;行動観察&gt;</p> <p>◎自分のことをよく知ってもらったり相手の事をよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいもの等について尋ねたり答えたりして<u>伝え合おうとしている。</u> &lt;行動観察&gt; ※児童が伝え合う様子を観察し、評価の記録を残す。</p>
---	---	----------	----------	---

### 【具体的な評価と指導のポイント】

ここでは、一例として「知識・技能」の評価に係る第4時のワークシートと、その評価例を示します。詳しくは参考資料第3編をご覧ください。



#### 【評価のポイント】

評価規準から、「おおむね満足できる状況」である具体的な児童の姿と場面を想定（できれば明示）しておくことが大切。

#### 【指導のポイント】

第4時に行うワークシートの例。このシートを「知識・技能」の「記録に残す評価」として活用するためには、事前に聞き取りに必要な表現を、児童に充分聞かせることが指導としては重要。そのため、単元の指導計画を作成する段階から「第1時～3時で設定している【Let's Listen】や【Let's Watch and Think】で何を、どのように、児童に聞かせるのか」という指導の見通しを持つことが重要。

評価場面と方法	〈場面〉指導者の話を「聞く」活動 〈方法〉ワークシートの記述分析
指導者のスピーチ	My birthday is September 28 <sup>th</sup> . I like ice cream. So, I want ice cream for my birthday present. I like chocolate and strawberries. Then I want to eat chocolate and strawberry ice cream.
評価例	「おおむね満足できる」状況 (b) ※それぞれの項目について、正しく聞き取ることができている 指導者の話を聞いて、ワークシートに以下のように記入している場合 「たん生日：9月28日」「好きなもの：チョコレートといちご」「ほしいもの：アイスクリーム」
	「努力を要する」状況 (c) ※正確な聞き取りに課題がある 指導者の話を聞いて、ワークシートに以下のように記入している場合 「たん生日：8月28日」「好きなもの：アイスクリーム」「ほしいもの：チョコレートといちご」
事後の授業づくりや指導に生かす	「努力を要する」と評価した児童に対しては、改善点について、振り返りシート等に記入したり、口頭で伝えたりして、児童の学習改善につながるようにする。また、指導者自身が、これまでの指導に課題がなかったかを振り返ることが重要である。例えば、ワークシート分析を踏まえ、第4時以降の授業では、児童の学習改善につながる手立て（「Small Talk」でのやり取りや、クラスでのインタビュー活動等）をより積極的に行う等が考えられる。

### （参考）小学校 外国語活動（3・4年）に係る評価の在り方について

外国語活動については、文部科学省からの「**小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）**」において、以下のように示されています。

外国語活動の記録については、評価の観点を入りした上で、それらの観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述すること

#### <外国語活動の評価の観点>

##### 【知識・技能】

- ・ 外国語を通して、言語や文化について**体験的に理解を深めている**。日本語と外国語の音声の違い等に**気づいている**。
- ・ 外国語の音声や基本的な表現に**慣れ親しんでいる**。

##### 【思考・判断・表現】

- ・ 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ち等を**伝え合っている**。

##### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて**コミュニケーションを図ろうとしている**。